

事業報告書

事業名 「青梅の森林の魅力発信」



1 実施団体

NPO 法人 青梅林業研究グループ

2 担当課

- ・経済スポーツ部 農林水産課
- ・教育委員会 指導室
- ・環境部 公園緑地課

3 実施時期

令和3年11月以降から令和4年3月31日まで

※期間内に体験型イベント2回実施

4 参加者

5 実施場所

- ・永山丘陵ハイキングコース及び青梅の森
- ・あまがさすの森

6 事業の目的

青梅市内の、森と木を活用できる人材の発掘と育成

7 役割分担

●団体の役割

- ・イベントの企画運営
- ・イベント会場の整備、準備

●担当課の役割

- ・青梅市民へのイベント広報
- ・イベント会場の提供

8 事業の効果（どのような地域課題が解決できたか）

- ・市内の身近な森林の状況について、知っていただき、森林の魅力を発見し、体験していただくことができた。
- ・森林を守り育てていくために、未来の担い手の育成を図る取り組みの必要性を伝えることができた

9 目標達成

●事業の目標：

1. 青梅市内の森や木を活用できる人材の発掘、人材ネットワークの構築強化
2. 新たな森林環境教育の場づくり
3. 青梅市民はじめ都市住民へ、青梅の森林の魅力発信

●目標の達成具合：

1. 青梅りんけん以外の人材ネットワークも活かし、講師やスタッフになっていただける方を発掘でき、人材ネットワークの構築強化が図れた。
2. 新たな森林環境教育の場として、新しい場所の発見は無かったが、永山丘陵ハイキングコースと青梅の森で、コース設定次第で様々な森の姿を発見、体験することができた
3. 青梅市民、都市住民へ、青梅の森林の魅力発信することについて、イベント参加者募集人数に対し、コロナ禍によるまん延防止等重点措置などの期間が重なりイベント延期が生じた。そのため参加者数は少なかったが、より多くの情報を共有できた。また、広報おうめ、チラシ他に、地元WEBサイトにも掲載いただき、より多くの市民に青梅の森林の魅力を発信できた。

10 事業の実施内容

●12/4(土) 12/11(土)第1回イベントの現地下見準備

永山丘陵ハイキングコースおよび青梅の森を歩き、案内コースの設定、危険個所の洗い出しを行った。

※スタッフ2名

●12/11(土)第1回イベント 発見！探検！『青梅の森』を行った。

今起きているナラ枯れについて、講師を招き説明を受けながら森を歩いた。また、SDGsと森の関係性について学び、丸太切り体験を行った。

※一般参加15名・スタッフ5名・講師1名

市民協賛事業
発見！探検！『青梅の森』



日 時：令和3年12月11日(土)
10:00～14:00
※受付9:30～
※受付は15時まで、文化交流センター（アソビたまごセンター）にて、森のおはなし。

集合場所：永山公園駐車場
※駐車場に限りがある為、なるべく公共交通機関等をご利用ください。

内 容：今回は、青梅駅から近い『青梅の森』
青梅に住んでも意外と知らないこの森には、
ニホンカモシカや様々な動物も生息しています！
また、展望台から、スカイツリーなどの景色！
しかし今、その森で何が起きてはじめています。
SDGsとの関係性も多い森・・・
講師と一緒に森を歩き、身近な森の今を知り、
みんなで、できることを考えよう！

定 員：先着20名（参加費無料）
※基本小学4年生以上の親子での参加をお待ちしています。
※昼食をお持ちの上、森を歩ける服装でお越しください。

お申込み期間：12月1日水9時～12月7日火17時まで
お申し込み先：青梅市農林水産課林務水産係
☎0428-22-1111 ☓dny2060@city.ome.lg.jp

お問い合わせ：NPO法人青梅林業研究グループ ☓ome@ken195@gmail.com



●1/22(土) 2/19(土)第2回イベントの現地下見準備

成木小学校近くのあまがさすの森を歩き、案内コースの設定、危険個所の洗い出しを行った。危険木枯れ枝除去作業あり。

※スタッフ7名


●2/19(土)第2回イベント発見！探検！『あまがさすの森』を行った。

※1/22より延期

あまがさすの森に生息する動物や植物について、講師を招き説明を受けながら森を歩いた。また間伐体験と、皮むき体験、ベンチづくり体験を行った。

※一般参加7名・スタッフ8名・講師1名

市民協働事業
発見！探検！『あまがさすの森』



日時：令和4年1月22日（土）
10：00～14：00
※雨天の場合は中止
※受付：30分前

集合場所：成木小学校駐車場
※駐車場に限りがあるため、なるべく公共交通機関等をご利用ください。

内容：今回は、成木小から近い『あまがさすの森』小学校から近いこの森には、アナグマやカモシカなど、様々な動物も生息しています！また、森から流れる水辺や、森の活動広場などがあります。しかし今、その森で何かが起きはじめています。SDGsとの関係性も多い森・・・講師と一緒に森を歩き、身近な森の今を知り、みんなで、できることを考え行動しよう！

定員：先着20名（参加費無料）
※基本、小学生以上の親子（ハイキングができる方）
※居着、動物をお持ちの上、森を歩ける服装

お申し込み期限：1月4日火9時～1月14日金17時まで
お申し込み先：青柳市農林水産課林務水産係 ☎0428-22-1111
※申込み、お申し込み先は必ずお申し込みの住所、氏名、電話番号、お申し込み先を記載の上、☐ dy2060@city.ome.lg.jp までご連絡ください。
お問い合わせ：NPO法人青柳市農林水産研究会 ☐ amest@amest1925@gmail.com

主催：NPO法人青柳市農林水産研究会
協賛：青柳市農林水産課水産係/環境部/公園緑地課/教育委員会/向島町
※この事業は、令和4年3年度市民協働事業の採択を受けています。



11 実施団体と担当課の事業評価

4 はい 3 どちらかといえば「はい」 2 どちらかといえば「いいえ」 1 いいえ

調査項目	団体	担当課
(1) 事前の話合いを十分に行い、役割分担は明確になっていた	3	3
(2) 事業に最もふさわしい協働形態が選択された	3	4
(3) 協働の役割分担は適切だった	3	4
(4) 協働相手は適切だった	4	4
(5) 対等な立場での協力関係を築けた	4	4
(6) 協働相手の自主性・自立性は尊重された	4	4
(7) 事業実施は円滑になされた	3	3
(8) 設定した目標が達成された	4	4
(9) 協働で行うことにより効果がある事業だった	4	4
(10) 今後の課題と改善策をお互いに話し合った	3	4

12 まとめ（今後の課題や改善点など）

今後の改善点として

- コロナ禍での実施ということもあり、感染症対策は整えていたものの、緊急事態宣言や、まん延防止措置が出た場合イベントの延期が生じると、参加者、スタッフ、講師のリスケジュールが必要になり、人数の確保に苦労した。森林空間という風通しがよく、密が避けられる状況下であれば、ある程度の実施に関する緩和措置をご検討いただきたいと思います。
- 今後、このような森林空間を活用したイベントなどの要望は、高くなると思うので、行政職員の方の参加をお願いしたい。

13 その他

- 森林環境税、森林環境譲与税の適切な運用をするうえで、市内の森林を守り育てる将来の担い手育成は必須であると思いますので。行政と市民が一体となった、有効な使い道をご検討願いたいと思います。